

北陸地方建設事業推進協議会

平成30年度

「建設技術報告会」

実施報告書

平成31年2月

北陸地方建設事業推進協議会

「建設技術報告会」実行委員会

# 目次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	3
5) 報告技術のテーマ	3
6) 主催構成機関及び実行委員会構成員	3
7) 聴講者数及び聴講者数の推移	5
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 技術報告	6
3) 基調講演	7
4) 技術パネル等展示コーナー	8
5) NETIS 等パンフレット紹介コーナー	9
6) CPD/CPDS 認証プログラム	9
7) 閉会式	10
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	11
2) 主な経緯	11
3) 運営体制	12
4) 会場設営	13
4. 広報	
1) 広報活動	15
2) 広報等掲載一覧	15
5. アンケート	
1) 設問内容	18
2) 配布・回収	18
3) アンケート結果概要	19
4) 設問別集計結果	21

# 1. 開催概要

## 1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催されました。

本報告会は、平成7年度から開催され、今回で23回目の開催となりました。

## 2) 開催日時

■平成30年10月25日(水) 9時30分～16時30分

●会場 石川県地場産業振興センター(本館)

●受付 9時00分～

●開会式 9時30分～9時40分

開会挨拶：北陸地方整備局地方事業評価管理官 小山浩徳

●基調講演 9時40分～10時40分

演題：「ICT活用による建設生産性の向上」

講師：国土交通省 国土技術政策総合研究所  
社会資本マネジメント研究センター  
センター長 清水 晃 氏

●技術報告 10時50分～16時20分

●閉会式 16時20分～16時30分

総評・閉会挨拶：平成30年度「建設技術報告会」実行委員長 鈴木 和弘  
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

閉会式終了後、「CPD/CPDS」の受講証明書の発行を行いました。

## 3) 開催場所

### ■会場施設

石川県地場産業振興センター

住所：〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地

TEL：076-268-2010

URL：<http://www.isico.or.jp/jibasan/index> ■交通アクセス

### ◆金沢駅から約4Km

・JR利用 JR金沢駅金沢港口(西口)からバスで約30分/タクシーで約10分/徒歩で約40分

・自動車利用

北陸自動車道 金沢東ICより車で約10分/金沢西ICより車で約10分◆自動車利用：

《駐車場》600台 無料



■使用会場

- |         |       |  |
|---------|-------|--|
| ●大ホール   | 施設 1階 | 開会式・基調講演・技術報告・閉会式<br>聴講席：482席<br>事務局・スタッフ控え室 |
| ●ギャラリーA | 施設 1階 | 技術パネル等展示コーナー<br>パンフレット紹介コーナー                 |
| ●第3会議室  | 施設 2階 | 基調講演講師・来賓者控え室                                |

## 4) 構成と報告時間

基調講演と技術報告の2部構成として開催した。

報告時間は「発表者入替」「プレゼンター立ち上げ」「質疑応答」を含めて1技術15分とし、  
1技術の報告終了毎に概ね3分間の質疑・応答時間を設けた。

技術報告16技術(質疑応答含み1技術15分)、基調講演60分、昼休み70分、休憩10分×2回

時間	9:00	9:30	9:40	10:40	10:50	11:50	13:00	14:00	14:10	15:10	15:20	16:20	16:30
時間	30	10	60	10	60	70	60	10	60	10	60	10	
内容	受付	開会	基調講演	準備	技術報告 15分×4課題	昼休み	技術報告 15分×4課題	休憩	技術報告 15分×4課題	休憩	技術報告 15分×4課題	閉会	
技術パネル等展示 NETIS等パンフレット展示	展示時間：9時00分～16時30分												

## 5) 報告技術のテーマ

下記6テーマの分類により、合計16技術の技術報告を行った。

テーマ別報告技術数は以下のとおりである。

- ① 良いものを安く(i-Construction) 4題  
(生産性向上、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術 等)
- ② 社会資本の的確な維持管理・更新 7題  
(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術 等)
- ③ 雪に強い地域づくり 1題  
(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術 等)
- ④ 自然災害からの安全確保 1題  
(危機管理、土石流などの防災に関する新技術 等)
- ⑤ 環境の保全と創造 0題  
(建設副産物、リサイクル、省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術 等)
- ⑥ その他 3題  
(その他①～⑤に属さない新技術 等)

## 6) 主催構成機関及び実行委員会構成員

### ■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 平成30年度「建設技術報告会」実行委員会』である。  
以下に実行委員会の構成機関(23機関)を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／  
 中日本高速道路(株)金沢支社／(一社)日本建設業連合会北陸支部／  
 (一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／  
 (一社)石川県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／  
 (一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／  
 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／  
 (一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／  
 (一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

## ■実行委員会構成員

役員	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委員	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	会計監査
委員	富山県 土木部 建設技術企画課	副主幹 技術指導係長	
委員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課参事	
委員	新潟市 都市政策部 技術管理課	課長	
委員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委員	中日本高速道路(株)金沢支社 総務企画部 企画調整チーム	サブリーダー	
委員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委員	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)富山県建設業協会	常務	
委員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委員	(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	事務局長	
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(一財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(一社)北陸地域づくり協会 技術部	技術部長	
委員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

## 7) 聴講者数及び聴講者数の推移

### ■聴講者数

聴講募集を8月20日から9月21日まで行ったが、目標に達しなかったため10月24日の開催前日まで延長し追加募集を実施した結果、394名の聴講者が参加した。本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【平成30年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

機関・団体名		申込	実績
官公庁	国交省、各県、各市町村他	115	114
民間		299	262
発表者(官公庁)		3	3
発表者(民間)		13	13
報道		0	2
合計		430	394

### ■聴講者数の推移

【「建設技術報告会」聴講者数(第1回～第22回)】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34
民間(協会等)	189	373	430	209	364	401	471	354	360	319
学校						3		35	7	
合計	267	643	658	432	533	579	630	511	478	458
回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
国土交通省等	45	47	33	47	43	67	65	60	70	50
自治体	18	29	24	23	49	24	100	93	77	33
民間(協会等)	278	302	404	343	459	411	336	418	293	441
学校										
合計	341	378	461	413	551	502	501	571	440	524
回	第21回	第22回								
年度	2016年	2017年								
開催地	金沢市	新潟市								
国土交通省等	35	43								
自治体	81	40								
民間(協会等)	341	373								
学校										
合計	457	456								

## 2. 実施内容

### 1) 開会式

時 間：9時30分～9時40分  
会 場：大ホール  
開会挨拶：北陸地方整備局 地方事業評価管理官  
          小山 浩徳  
司 会：北陸技術事務所 副所長  
          宮島 実



開会挨拶の状況

### 2) 技術報告

時 間：10時50分～16時20分  
会 場：大ホール 16技術  
司 会：I・IIグループ (一社)日本建設業連合会 北陸支部(清水建設(株)北陸支店) 小川 晃市氏  
          III・IVグループ 北陸地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐 元平 幸成氏



技術報告の状況



技術報告の状況



発表の状況



聴講者質問の状況

・報告技術の募集は平成30年6月13日(水)～平成30年7月10日(火)まで行い、応募のあった16課題の技術報告を実施した(応募総数は23課題であった)。

【報告技術一覧表】

発表グループ	テーマ番号	技術名	発表者氏名	会社(機関)名
I	④	石川県土砂災害情報システム(SABO アイ)の改良	加藤 哲朗	石川県
	②	EMC壁高欄とスリムファスナー ー床版取替工事の急速施工ー	岩城 孝之	株式会社大林組
	②	老朽化したのり面の補修補強技術とその適用例	窪塚 大輔	日特建設株式会社
	②	人工知能を用いた舗装診断技術による舗装マネジメントの効率化	畑山 良二	福田道路株式会社
II	②	維持管理を考慮した補強土壁工法	久保 哲也	前田工織株式会社
	②	防草パネル(ASK-IIパネル)	木村 克之	株式会社アドヴァンス
	②	供用中の栈橋を効率的に補強するRe-Pier(リピア)工法	吉原 到	あおみ建設株式会社
	②	ヘル工法の技術を取り入れた改築推進(塩化ビニル推進管への置換え)の開発	大瀬 弘樹	真柄建設株式会社
III	①	コンクリートのこわばりを低減できる混和剤「チキソリデュース」	根本 浩史	清水建設株式会社
	①	複合現実(MR)技術の建設現場での活用「Genba-MR アピアコ」	太刀川 翼	株式会社興和
	①	栈橋の調査診断システム「i-Boat」	水野 剣一	五洋建設株式会社
	①	消波工の測量点群を用いた消波ブロックのソリッドモデリング技術	橋田 雅也	株式会社不動テトラ
IV	③	除雪機械の情報化施工技術の検討について	橋本 隆志	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
	⑥	ダム堤体嵩上げ工事の工程短縮対策とコンクリートの品質確保	水上 裕治	鹿島建設株式会社
	⑥	転圧ローラのプレーキアシストシステム開発	野田 哲也	鹿島道路株式会社
	⑥	石川県立中央病院建替事業	直江 広太郎	石川県

- |                                 |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| ① 良いものを安く (i-Construction) (4題) | ② 社会資本の的確な維持管理・更新 (7題) |
| ③ 雪に強い地域づくり (1題)                | ④ 自然災害からの安全確保 (1題)     |
| ⑤ 環境の保全と創造 (0題)                 | ⑥ その他 (3題)             |

### 3) 基調講演

時間：9時30分～10時40分

会場：大ホール

演題：「ICT活用による建設生産性の向上」

講演者：国土交通省 国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター  
センター長 清水 晃 氏

司会：北陸技術事務所 副所長 宮島 実



清水 晃 氏



基調講演聴講状況

#### 4) 技術パネル等展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、展示希望を募り24技術のパネル展示を実施した。パネルの前面には当該技術のパンフレットや模型等を配置した。

時 間：9時00分～16時30分

会 場：ギャラリーA

【技術パネル等展示一覧表】

番号	出展技術	出展者
①	クワッドアクセル	鹿島建設株式会社
②	大容量・高性能吹付けコンクリートのトンネル工事への適用	株式会社安藤・間
③	EMC 壁高欄とスリムファスナー ー床版取替工事の急速施工ー	株式会社大林組
④	トンネル鋼製支保工建込みロボット	前田建設工業株式会社
⑤	ニューレスプ工法	日特建設株式会社
⑥	延長床版システム プレキャスト工法	株式会社ガイアート
⑦	ヒートスティック	鹿島道路株式会社
⑧	フレークウッド(樹脂系木質舗装)	株式会社佐藤渡辺
⑨	音響付加型凍結抑制舗装工法	世紀東急工業株式会社
⑩	EGカラー(すべり止めカラー水性塗料)	東亜道路工業株式会社
⑪	舗装損傷診断システム(マルチファイン アイ)	福田道路株式会社
⑫	下水汚泥焼却灰のアスファルトファイラー化と新たな取り組みについて	株式会社金沢舗道
⑬	TREND-POINT	福井コンピュータ株式会社
⑭	防草パネル(ASK-IIパネル)	株式会社アドヴァンス
⑮	PC中間定着工法	川田建設株式会社
⑯	Re-Pier(伸縮式ストラット)工法	あおみ建設株式会社
⑰	栈橋の調査診断システム	五洋建設株式会社
⑱	定点保持機能(DPS)を搭載した自航式多目的船	東洋建設株式会社
⑲	没水型長周期波対策工	株式会社不動テトラ
⑳	HONMA情報化施工技術	株式会社本間組
㉑	コンクリートのこわばりを低減できる混和材 チキソリデュース	清水建設株式会社

②②	T-CIM の紹介	大成建設株式会社
②③	ベル工法(塩化ビニル推進管による長距離・曲線推進)の技術	真柄建設株式会社
②④	Genba-MR アピアコ	株式会社興和

## 5) NETIS 等パンフレット配布コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、下記の国、自治体による新技術登録制度に登録された技術を対象として、配布希望を募り7技術のパンフレット配布を行った。

時 間：9時00分～16時30分

会 場：ギャラリーA

【NETIS 等パンフレット一覧表】

番号	出展技術	出展者
①	パフェグラウト工法	日特建設株式会社
②	ファスト・アス(小規模用常温硬化型路面補修材)	東亜道路工業株式会社
③	タックファインSQ工法	東亜道路工業株式会社
④	KK合理化継手(ナット付き鉄筋継手)を用いたプレキャストPC床版	川田建設株式会社
⑤	テトラネオ	株式会社不動テトラ
⑥	水中三次元座標測量システム	株式会社本間組
⑦	クレーン作業安全誘導システム	株式会社本間組

## 6) CPD/CPDS 認証プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に、平成20年度より一般社団法人建設コンサルタント協会による「CPD(継続教育)5単位」プログラム及び一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS(継続学習制度)3ユニット」の認定講習の登録を行い、158名に受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の約40%(158/394)であった。

### ■受講受付

時 間：9時00分～9時30分

場 所：大ホール出入口

聴講受付—受講証明書引換券配付

### ■受講証明発行

時 間：16時40分～17時00分

場 所：大ホール出入口

CPD/CPDS 受付—引換券により受講証明書発行

平成30年度 受講証明書交付数：158名 (CPD：69名 CPDS：89名)

1-A

証明書発行日：2018年10月25日

(一)建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム

**JCCA** 受講証明書・参加証明書

受講・参加者氏名	
所属会社等	
プログラム番号	201809180001
プログラム名	平成30年度建設技術報告会
主催者	平成30年度建設技術報告会実行委員会(事務局:国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所)
共催者	
開催日	2018/10/25 ~ 2018/10/25
参加実時間	5.33
CPD単位	5.33

上記内容で、  
JCCA認定プログラムを受講・参加されたことを証明いたします。

平成30年度建設技術報告会実行委員会  
実行委員長 鈴木 和弘  
(国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所長)

印

CPD 受講証明書



受講証明書引換券配布状況

No.

**受講証明書**

受講者名 又は 通し番号			
プログラム名称	平成30年度建設技術報告会		
プログラム番号	491495	ユニット数	6 unit
講習日・時間	2018年10月25日 9:30 ~ 16:30		
講習会場	【石川県】石川県地場産業振興センター		

上記の者について、講習会を受講したことを証明します。

2018年10月25日

主催：平成30年度建設技術報告会実行委員会  
実行委員長 鈴木 和弘  
(国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所長)

CPDS 受講証明書



受講証明書発行状況

## 7) 閉会式

時間：16時30分～16時40分

会場：大ホール

総評・閉会挨拶：

「建設技術報告会」実行委員長 鈴木 和弘  
(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

司会：北陸技術事務所 副所長 宮島 実



閉会挨拶の状況

# 3. 準備及び運営・設営

## 1) スケジュール

平成30年度「建設技術報告会」の運営は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 「平成30年度 建設技術報告会」運営スケジュール

	平成30年 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	備考
<b>実行委員会等</b>															
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会（運営委員会）	● 2/21(水)														
実行委員会開催（会議資料作成等）			● 議案準備・資料作成			● 8/12(火)							● 資料作成	● 2/25(月)	
	協議・決定事項等												協議・決定事項等	実施結果報告、決算報告承認	
<b>報告技術募集及び原稿作成等</b>															
各案内用チラシ原稿作成			● 報告技術募集用			● 聴講者募集用									
ホームページ開設・運営				HPデータ作成	● 報告技術募集	● 開催告知	● 聴講募集								● 開催結果
報告技術募集・取りまとめ（主催機関）					● 8/13(水)	● 7/10(火)									● 2/28(火)～
技術パネル表示募集・取りまとめ（主催機関）					● 8/13(水)	● 7/10(火)									
NETIS等への紹介紹介募集・取りまとめ（主催機関）															
報告技術検討・選定						● 7/11(水)	● 7/20(金)								
採否通知送付（事務局）							● 7/23(月)								
報告論文原稿、概要版作成・提出（報告技術発表者）							● 7/23(月)	● 8/31(木)							
プレゼンター作成・提出（報告技術発表者）							● 7/23(月)	● 9/14(金)							
聴講募集（主催機関等）								● 8/20(月)	● 10/24(水)						
報告論文集（PDF）作成（HP掲載）								● 9/11(金)	● 9/26(水)						
<b>その他</b>															
基調講演者依頼・報道役込み				● 各講演者選定・依頼								● 報道関係へ役込み			
CPD/CPDSプログラム登録申請							● 8月上旬								
会場設営・準備								● スタッフ報告				● 10/24(水)			
報告会開催															★ 10/25(木)

## 2) 主な経緯

会議名等	実施日時	会場	内容
平成30年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成30年2月21日（水）	北陸地方整備局 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
平成30年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	平成30年6月12日（火） 13時30分～15時00分	新潟国道事務所 B棟会議室	規約（案）の協議・承認 実施計画（案）の協議・承認 予算（案）の協議・承認
平成30年度「建設技術報告会」開催	平成30年10月25日（木） 9時00分～16時30分	石川県地場産業振興センター （本館）大ホール、ギャラリー A	報告会開催
平成30年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	平成31年2月25日（月） 13時30分～15時00分	北陸技術事務所 研修棟第1教室、富山出張所災 害対策室	実施報告 決算報告 平成31年度開催（案）

### 3) 運営体制

報告会当日は、別途契約の設営会社及び主催構成機関・団体からの運営スタッフ 21 名の協力により実施した。

【機関・団体別 スタッフ人数】

国土交通省 北陸地方整備局				主催 協力機関・団体								合計	
企画部 施工 企画課	港湾空港部 海洋環境 ・技術課	新潟港湾空港 技術調査 事務所	北陸 技術 事務所	小計	石川 県	石川 建協	日建 連	道建 協	建 コン 協	機 械 施 工 協	埋 浚 協		小計
3	2	2	3	10	3	2	2	1	1	1	1	11	21

【運営体制表】

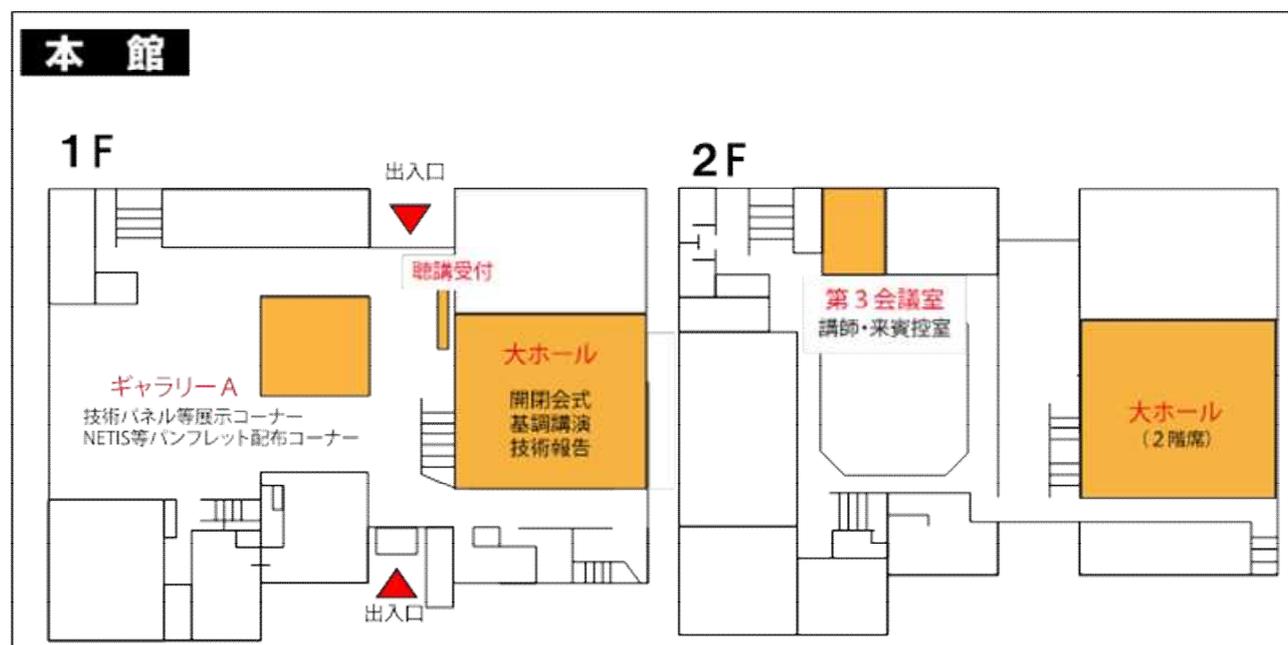
担当・時間・会場等		設営人員 計21人	北陸地整 10人	石川県 3人	石川建協 2人	日建連 2人	道建協 1人	建設コン 1人	機械協 1人	埋浚協 1人
受付係 (聴講)	受付開始～報告終了まで	8		1	1					
	受付開始～基調講演終了まで			2	1			1		1
受付係 (CPD/CPDS)	閉会式終了～17:00まで	5	(5)							
技術報告	司会係	I・IIグループ	1			1				
		III・IVグループ	1	1						
	時間管理係	I・IIグループ	1		(1)					
		III・IVグループ	1			(1)				
会場照明/パソコン係		2		(1)		1				
マイク受渡し係		2					(1)	(1)		
写真係		2							1	(1)
事務局	開閉会式・基調講演司会係		1	1						
	来賓案内		1	1						
	接遇(来賓)		1	1						
	マスコミ対応		4	(4)						
	連絡調整係		2	2						
	運営・設営係	会場 配置替え	4	4						
		閉会会式 基調講演								
パネル撤収		2	(2)							

(参考)H29年度 28人

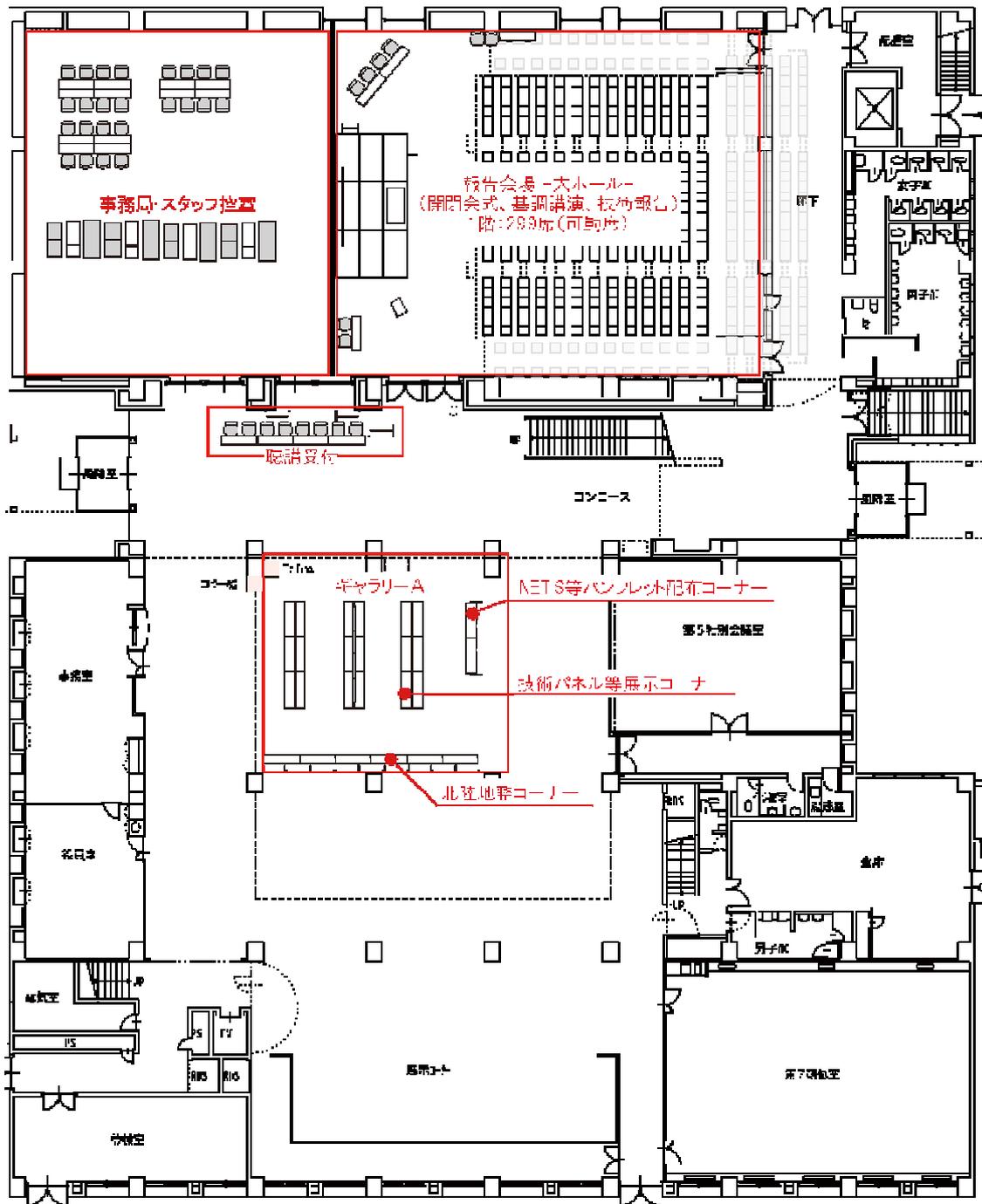
### 4) 会場設営

#### ■フロアマップ

本報告会の使用会場の位置を以下に示します。



■会場レイアウト図



①開催案内



②アンケート回収箱



③来賓控え室



④スタッフミーティングの状況



⑤技術パネル等展示コーナー



⑥ NETIS 等パンフレット紹介コーナー



⑤演台・スクリーン



⑥発表者演台・P C



⑦司会者席



⑧発表者控え席

## 4. 広報

### 1) 広報活動

種別・内容	方法	時期	摘要
チラシ配布	配布・募集	報告技術募集 (電子データ北技HP掲載)	6月13日～7月10日
		聴講募集 (紙・電子データ)	8月20日～10月24日
記者クラブ	資料配付	10月18日(木)	開催概要 プログラム
ホームページ	開設・運用	新潟県政記者クラブ 新潟県政記者クラブ 富山県政記者クラブ 石川県政記者クラブ	6月13日～(報告技術募集)
		北陸技術事務所 各主催機関・団体	8月20日～(聴講募集) 適宜

### 2) 広報等掲載一覧

#### ■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
北国新聞(朝刊)	北国新聞社	平成30年10月26日(金)
建設工業新聞	日刊建設工業新聞社	平成30年10月26日(金)

#### ■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	6月号(報告技術募集) 8月号(聴講募集) 3月号掲載予定(開催結果)

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

#### ■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
新潟県土木部技術管理課	「トップ(バナー掲載)」
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部	「トップ(バナー掲載)」
(一社)富山県建設業協会	協会ホームページにて案内
(一社)石川県建設業協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一社)新潟県融雪技術協会	「トップ(バナー掲載)」
(一財)新潟県建設技術センター	「トップ(バナー掲載)」
(一社)北陸地域づくり協会	協会ホームページにて案内、「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ(バナー掲載)」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ(バナー掲載)」

※引き続きHPでの広報にご協力をお願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

建設技術報告会バナー





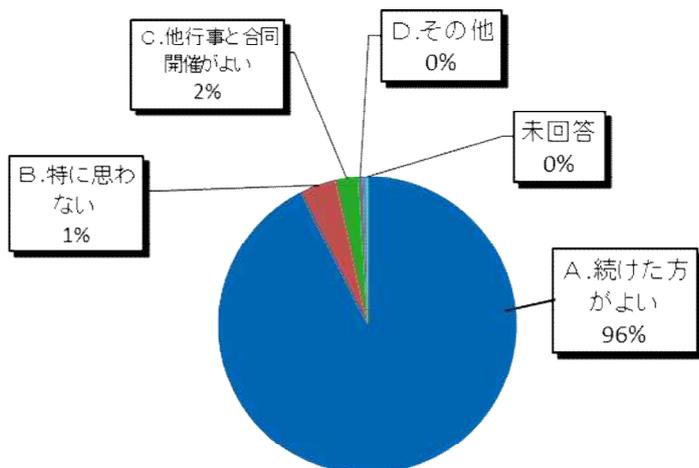




### 3) アンケート結果概要

#### ○今後の報告会の開催について

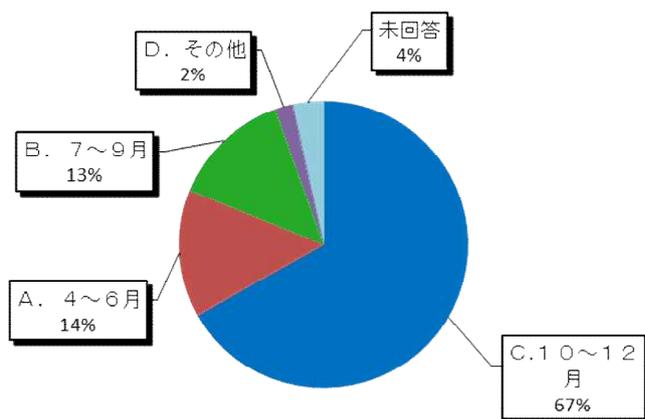
・ 9割以上が、「今後も継続して欲しい」と回答



A. 続けた方がよい	188
B. 特に思わない	8
C. 他行事と合同開催がよい	5
D. その他	1
未回答	1
	203

#### ○報告会の開催時期について

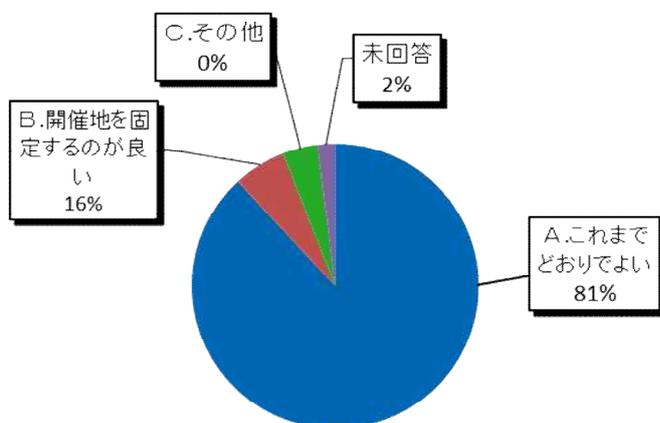
・ 2/3の方が「10～12月」(今の時期)と回答



A. 4～6月	29
B. 7～9月	27
C. 10～12月	135
D. その他	4
未回答	7
	202

#### ○これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？

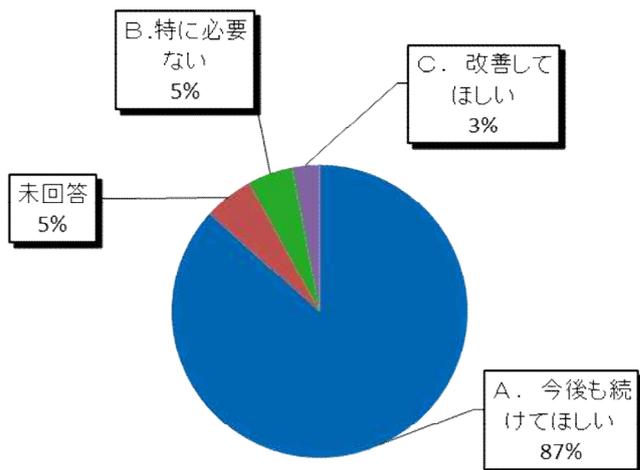
・ 8割が「これまでどおりでよい」と回答



A. これまでどおりでよい	179
B. 開催地を固定するのが良い	12
C. その他	8
未回答	4
	203

### ○基調講演について

・約9割が「今後も続けてほしい」と回答



A. 今後も続けてほしい	175
B. 特に必要ない	10
C. 改善してほしい	6
未回答	11
	202

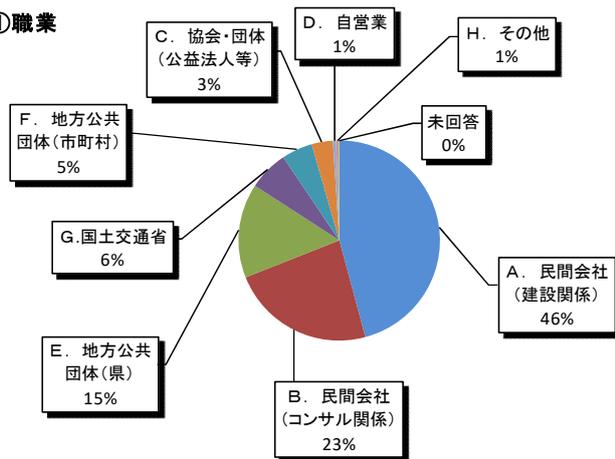
### ○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見（今後の課題等抜粋）

- ・発表者のパワーポイントの色が判別しにくいものや文字が小さく見づらかった。
- ・発表数が少なかった。より多数の発表があっても良い。
- ・発表者が使用したパワーポイントデータをホームページに掲載してほしい。

## 4) 設問別集計結果

### 問1. あなた自身についてお尋ねします。

#### ①職業

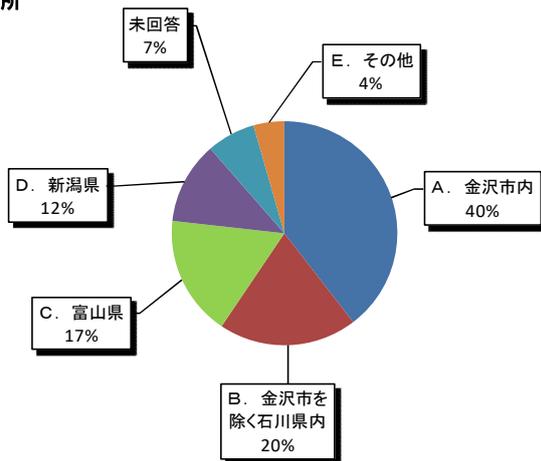


A. 民間会社(建設関係)	93
B. 民間会社(コンサル関係)	47
C. 協会・団体(公益法人等)	7
D. 自営業	1
E. 地方公共団体(県)	31
F. 地方公共団体(市町村)	10
G. 国土交通省	13
H. その他	1
未回答	0
	203

#### その他

NEXCO(1)

#### ②住所



A. 金沢市内	80
B. 金沢市を除く石川県内	40
C. 富山県	35
D. 新潟県	24
E. その他	9
未回答	14
	202

#### 金沢市を除く石川県内

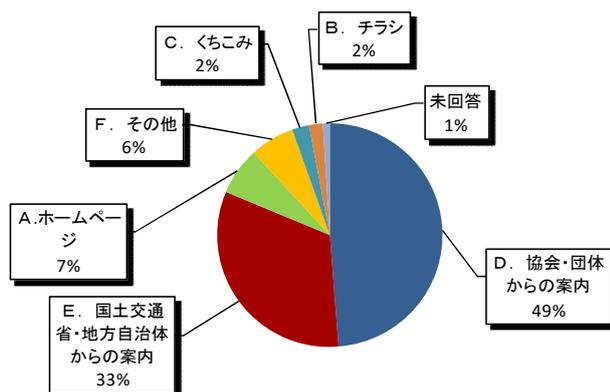
- ・珠洲市(5)      ・白山市(5)      ・小松市(3)
- ・加賀市(1)      ・大津市(1)      ・野々市市(1)
- ・七尾市(2)      ・能美市(1)
- ・志賀町(1)      ・能登町(1)      ・内灘町(1)

#### その他

- ・東京(1)      ・長野(5)      ・福井(1)
- ・不明(1)

### 問2. 今回の建設技術報告会来場についてお尋ねします。

#### ①本報告会の開催を何で知りましたか？



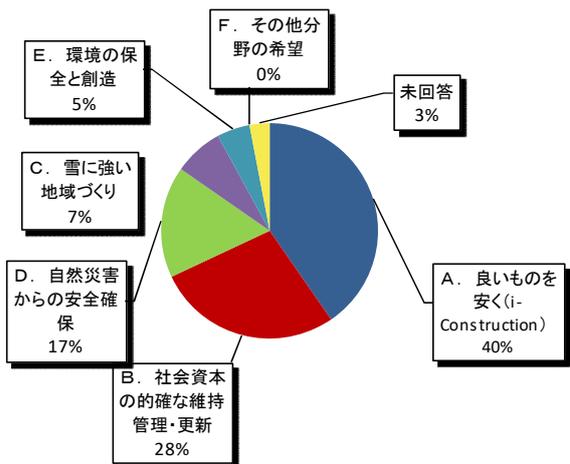
A. ホームページ	14
B. チラシ	4
C. くちこみ	5
D. 協会・団体からの案内	99
E. 国土交通省・地方自治体からの案内	66
F. その他	13
未回答	2
	203

#### その他

- ・職場(6)
- ・新聞(2)

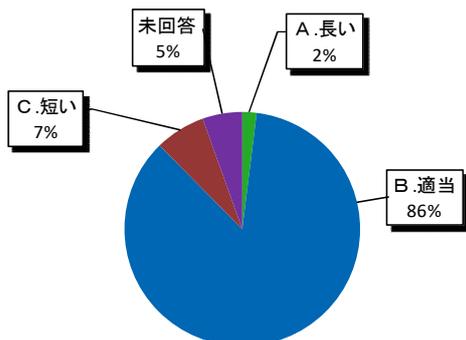
問3. 今回の報告会の開催についてお尋ねします。

①建設技術報告会は、次の5分野を核に報文を募集しています。最も関心のある分野はなんですか？



A. 良いものを安く(i-Construction)	82
B. 社会資本の的確な維持管理・更新	56
C. 雪に強い地域づくり	15
D. 自然災害からの安全確保	34
E. 環境の保全と創造	10
F. その他分野の希望	0
未回答	6
	203

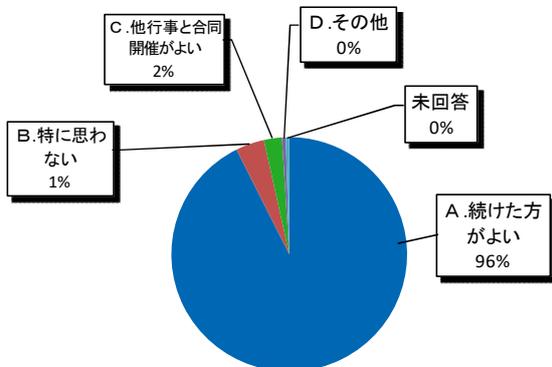
②報告技術の1題当たりの報告時間は？



A. 長い	4
B. 適当	173
C. 短い	14
未回答	11
	202

問4. 今後の報告会の開催についてお尋ねします。

①報告会を今後も開催した方がよいですか？

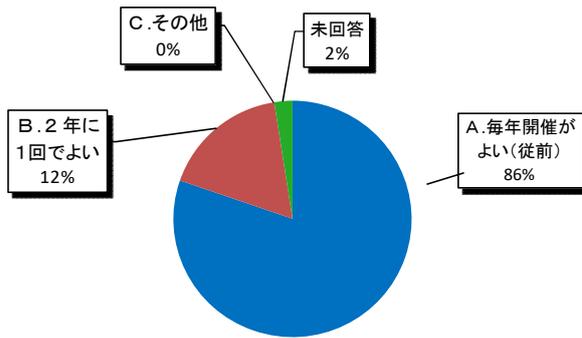


A. 続けた方がよい	188
B. 特に思わない	8
C. 他行事と合同開催がよい	5
D. その他	1
未回答	1
	203

Cの行事

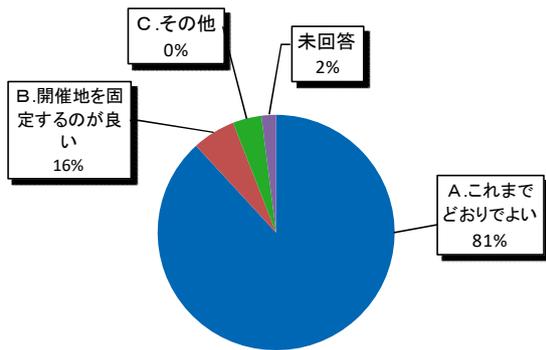
・けんせつフェア(1)

②開催年について



A. 毎年開催がよい(従前)	163
B. 2年に1回でよい	35
C. その他	0
未回答	5
	203

③これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？



A. これまでどおりでよい	179
B. 開催地を固定するのが良い	12
C. その他	8
未回答	4
	203

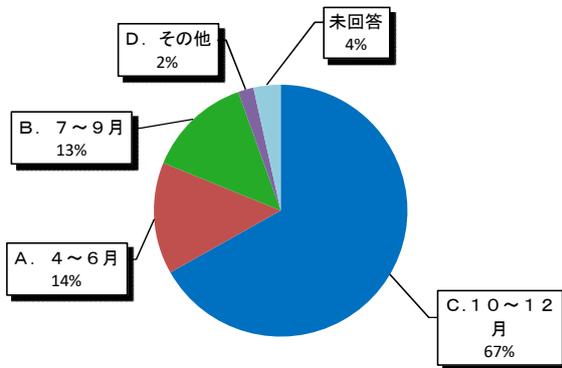
Bの開催地

・石川(5) ・富山(3) ・新潟(4)

その他

・新潟→富山→石川を順次(4) ・各県毎年開催(1)  
 ・毎年2会場(1) ・全建講習会が北陸で開催される時に(1)

④開催時期について

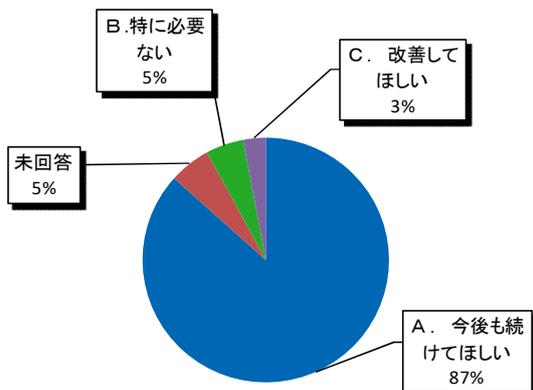


A. 4～6月	29
B. 7～9月	27
C. 10～12月	135
D. その他	4
未回答	7
	202

その他

・1月か2月(1)  
 ・特になし(2)

⑤基調講演について



A. 今後も続けてほしい	175
B. 特に必要ない	10
C. 改善してほしい	6
未回答	11
	202

改善案

・講演時間が長い(3)  
 ・動画の絵が小さい、音が小さい、意味が無い。話はゆっくりと分かりやすく(1)

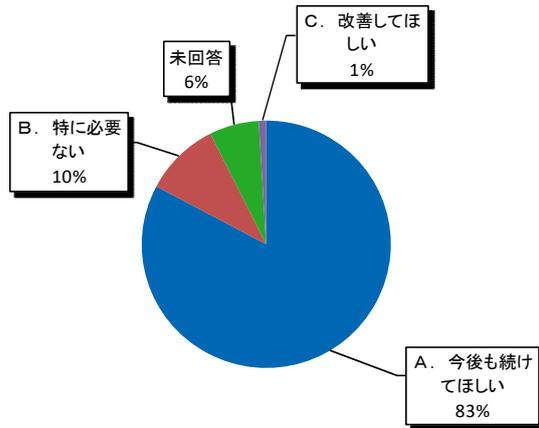
その他意見

・講師の選定については慎重に行ってください(1)

⑥基調講演で希望する内容はありますか？

- ・コンクリート関係
- ・海外事業への参入窓口
- ・建設分野でのAI活用等
- ・AI、XR、MR、ICT関連
- ・CIMの利用と使用ソフトウェアについて
- ・防災技術
- ・最新技術の動向について
- ・社会資本の維持、管理(機能保全計画等とからめて)
- ・インフラメンテナンスについて
- ・人工知能を用いたプログラム
- ・橋梁点検の簡素化について
- ・積算の簡素化について
- ・防災、克雪に関すること
- ・ドローンによる費用対効果
- ・自然災害に対しての北陸地整の活躍、取り組みの紹介
- ・環境保全に関する取組み
- ・働き方改革への対応について(建設業)
- ・人材育成や担い手の確保
- ・基調講演は誰でも聞きやすい、専門性のないものが良い
- ・AI技術の可能性、利用に向けて

⑦技術パネル等展示コーナーについて

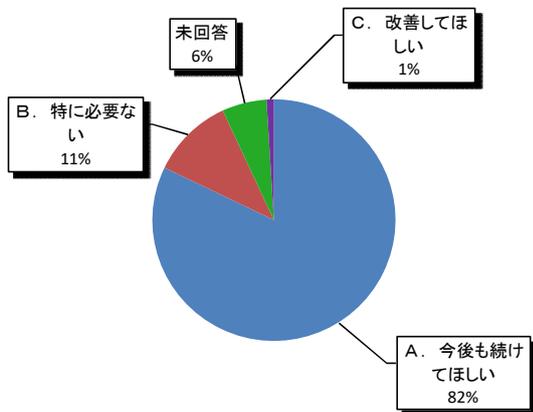


A. 今後も続けてほしい	168
B. 特に必要ない	20
C. 改善してほしい	2
未回答	13
	203

改善案

- ・休憩時間だけだと回り切れなかったり担当者が不在だったりするので、パネルのために時間を設けて欲しい(1)
- ・現物展示をしていただきたい(1)
- ・各社下側まで見えない。スペースをもっと縦長に(1)
- ・パネル展示場所の工夫が欲しい。テーブルにパネルの下部が接触し、重みが発生する。

⑧NETIS等パンフレット配布コーナーについて



A. 今後も続けてほしい	166
B. 特に必要ない	22
C. 改善してほしい	2
未回答	12
	202

改善案

- ・パンフのPDFデータを報告会のサイトでダウンロード出来たら良い
- ・休憩時間だけだと回り切れなかったり担当者が不在だったりしたので、時間を設けて欲しい

問5. その他ご意見・要望がありましたらご記入ください。

### <基調講演関係>

・基調講演のパワーポイントの文字が小さすぎ、全く見えなかった。手元の資料のパワーポイントも1ページに6枚入っており同じく小さすぎて見えない。

### <技術報告関係>

・新潟開催に比べ、発表者数・聴講者数が少ないのが寂しい。ぜひテコ入れを。

・調整は大変だと思いますが、高校生のグループの聴講で我々の新技術への取組みについて知ってもらうことも担い手確保につながると思う。

1～2グループなら半日対応してもらえるのではないかと思います。

・パワーポイントの色が判別しにくいものや字が小さいものもあって見づらかった

・発表数が少なくなったが、分かりやすい発表が多い印象であった。しかし、多くの発表が出来る場であった方が良いのではないか？

・老朽化更新におけるICTの活用、設備の延命化を図るためのICTの活用、老朽化更新の優先度のAI活用、構造物検査の判定におけるAI活用、構造物検査へのCIM導入

・大変貴重な報告会をありがとうございました。発表者が使用したPPT原稿もHPにUPしてほしいと思いました。

・各報告は小会議室で数ヶ所に分け同時にスタートし、聞きたいものの会場に行けるように。大ホールではスクリーンも見にくいし、時間も短くなるし質問もしにくい。

・大変勉強となる発表で、今後の業務に生かすことが出来ればと思う。 実際、受注されてからどのように工事に新技術が導入されて、変更設計までされているのか、発注時に新技術と設計しているのか、発注者の動きがどのようなものなのか知れたら尚有り難いです。

・知らない技術方法が多くあり感心した。ICTについては今後必ず広まっていくのもっと勉強が必要となるので今回分かりやすい話が聞けたのでよかった。

・より多数の発表があってもよい。(分野別)

・何となく質問しづらい雰囲気だと感じた。

・質問が非常に少ない。

・地方の技術者にとって最新の技術情報を身近に入手でき、有意義である。

### <その他>

・機材によるものか会場の環境か座った場所か分かりませんがせつかくの発表が響いて聞き逃す事が度々あり、残念でした。アンケートもQRコードや音声入力で、ネットで出来ると良いですね。ネットで答えたらCPDIに加点反映出来るようにすると(手応えがわかって)なお良し。

・報文の製本・配布はしているのですか？ 各報文の問い合わせはどのようにすれば良いのか教示願いたい。

・県外からの参加者も想定し、駅から近い会場にしてもらえるとありがたいです。

・除雪業務の時期のたびに、行政サービスについて自問自答しております。過剰サービスになってないか、と。近年の異常気象もありますが、雪国北陸に住んでいるという自覚のない苦情が増えており、除雪に携わっているオペレーター、道路管理者等がどれだけ頑張っているかが理解されていないことに心を痛めています。報われないと思うことは、モチベーションの低下、仕事離れとなり、ますます担い手不足となります。除雪における行政サービスの線引きをどこかですべきと考えていますが、道路管理者とはどうあるべきでしょうか。昔は家や会社の前の道路は地域の皆で協力して除雪したのですが、除雪の効率化を願っています。

・会場のスクリーンが小さいので、大きいスクリーンを使用してほしい。発表の内容PPの資料の配付を検討してほしい。

・大変勉強になりました。

・会場から質問がない時は、司会が質問をしては？ 質疑応答中にベル不要(元平さん司会時)

・ありがとうございました。

・大変貴重な報告会をありがとうございました。発表者が使用したPPT原稿もHPにUPしてほしいと思いました。